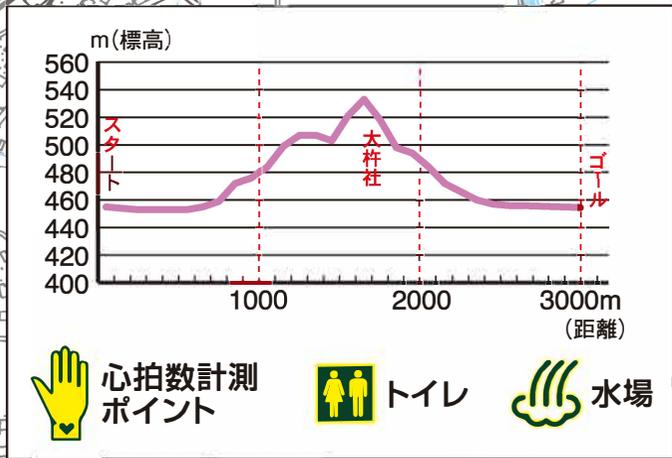


大杵社コース：約3 km



大杵社(おおごしゃ)

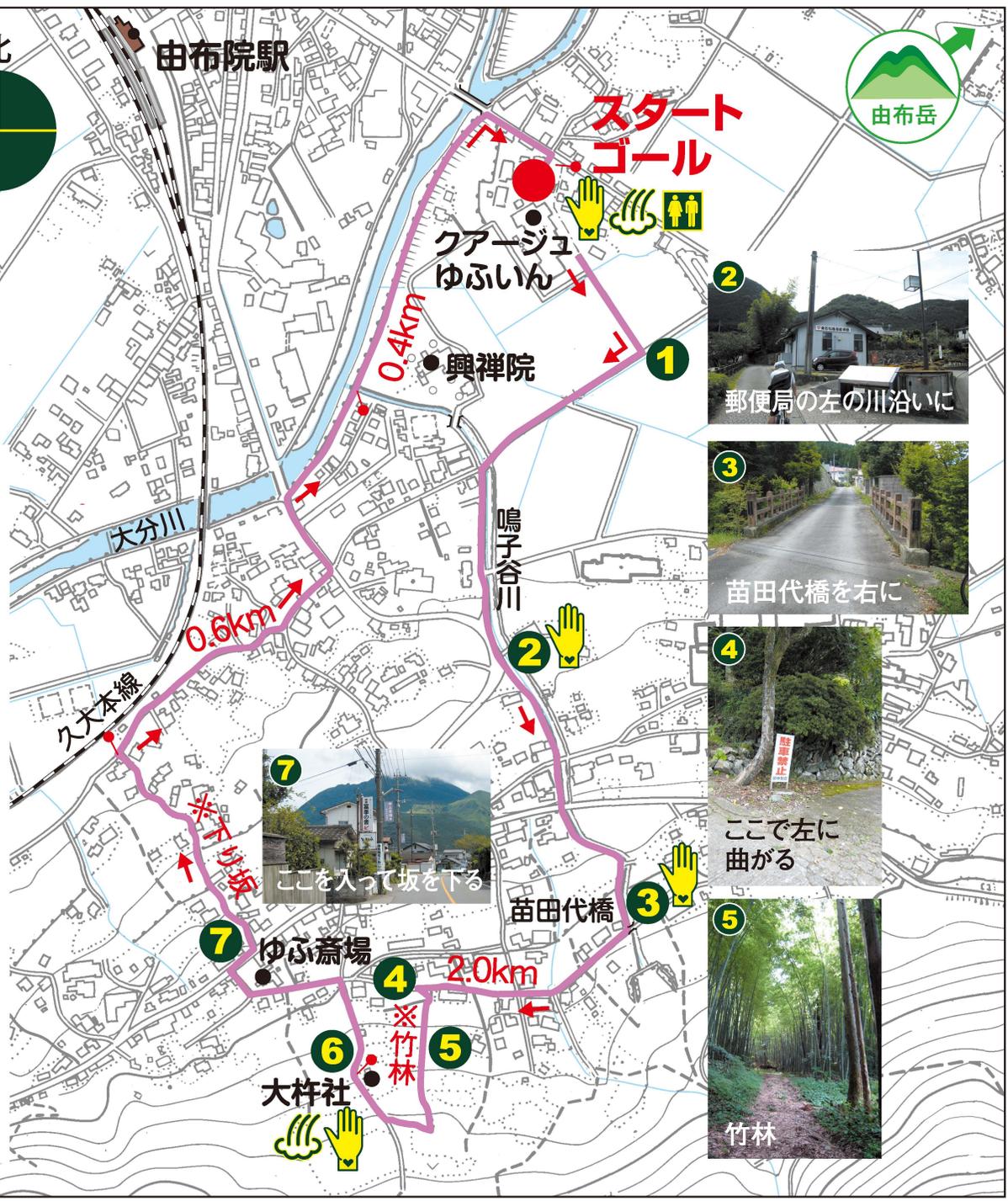
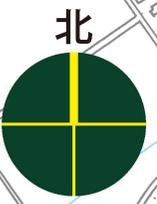
大杵社は宇奈岐日女(うなぎひめ)神社の末社で、草創は本社六所宮と同じ数千年の経た景行天皇の時代といわれています。大杵社の大杉は国の重要文化財に昭和9年に指定され、根元の周囲が13.5メートル、高さは35メートル。根元には畳3枚ほどの空洞があり、樹齢は1000年以上とされています。この空洞に明治30年の大晦日、ごみ焼き火が入り、2年2ヶ月2日も燃え続け、「煙が幹の30メートル上部の穴から噴出した」と伝えられています。一時はこれでおしまいかと思われた大杉。しかし、前よりも勢いが増したそうです。

出典：由布院温泉観光協会webサイト
<http://www.yufuin.gr.jp/nature/#8>



6

大杵社の大杉



1 郵便局の左の川沿いに

2 苗田代橋を右に

3 ここで左に曲がる

4 竹林

5 ここに入って坂を下る

6 ゆふ斎場

7 大杵社